

マイラン・マイウォーク

浜松風揚げまつりと御殿屋台ウォーク

- ★日時 5月3日(日) 雨天の時は浜松市内散策 ★申込 富士宮歩こう会事務所又は石川忠迄 (090-7854-5431)
- ★集合 富士宮駅改札口付近 7:50 【途中参加も可ですが、担当者と連絡をとって合流願います】
- ★コース 浜松駅～馬込川沿い～中田島砂丘風揚げ会場～浜松駅 (御殿屋台見学者以外は駅にて解散)
- ★参加費 2,600円(休日乗り放題切符代)(昼食・飲物は途中購入) ★歩行距離12km
- ★帰着 風揚げのみ 18:30 御殿屋台引き回し見学者21:30 ★保険加入なし、自己責任での歩行をお願いします。

相模川清流ウォークに参加して

影島 享子

今回は「ゆったりコース」9kmと「普通コース」17kmとあったので、日頃運動をしてない私でも「ゆったりコース」なら歩けそうなので参加する事にした。一年中で一番良い季節だ。桜が呼んでいる。心配した雨も陽が差し始めてきた。7時に駅前を出発した。車窓から見る桜も七～八分咲き。毎年、毎回計画を立ちあげてもいたずら好きの桜前線。ピッタリ合う事など滅多にない。車外は桜、さくら。車内は話に花が咲き笑い声が絶えない。順調にバスは進み「昭和スポーツ広場」に着いた。地元の人達だ。声援の側で何時も通り身体をほぐし歩き始める。20分程歩くと「当麻山無量光寺」でトイレ休憩である。参加者117名、用を足すと長い行列となる。ここ無量光寺は「かながわ景勝50選」に選ばれた名刹である。句碑に頭をひねった。横たわり生きている巨木。後、相模川沿いを歩いたが、さわやかな心地良い風、山々の萌黄、川の細流(せせらぎ)何か荒川の土手に立ったトラさんを思い出した。ここは良い撮影が出来そうだ。土手に植えられたウツギの足元の可憐なスミレ、イタドリの赤い葉が愛しい。田名向原遺跡公園に着くと旧石器時代の住居跡や五千年前の石器や二万年前の最古の地層などボランティアのガイドがあった・・・古に心馳せる。新堀用水を経て昼食場所の花と芝生の広場に着いた。相模原市もスポーツが盛んなようでここでも野球が盛り上がっていた。朝5時起きして作った塩むすびがおいしかった。昼食後、56名のゆったりコースの仲間もゴールの「花の苑地」まで近道で歩く事となり・・・結局13km、約二万歩。買物をし「普通コース」の仲間を待つ。中央高速を経て予定時間6時30分帰宮となる。

何時も感心するが1月に下見をし、会の世話役の皆様へ感謝、感謝である。バンザイ!ピッタリ。愉快的T・Iさんの「ヤッホー」を又聞かせてもらおう「ヤッホー」

南極の旅 (その2)

日程:2011年1月17日～30日(14日間)

松本 文子

1月19日17時、いよいよ南極に向け「ウシュアイア」を出港です。今回は予定された耐氷船「オーシャン・ダイヤモンド」がトラブルで、豪華客船「シー・スピリット」での南極行きです。ルームメイトは日本人で20代と50代の女性の三人で心強い。医師より24時頃、暴風圏のドレーク海峡に入るので船酔いの薬を飲むようアドバイスがある。

20日、船の揺れは本格的になり気分が悪いので医務室に行く。なんと医師も船酔いで不在、しばらく待たされて5ドルの注射を射ってもらいすぐに気分は良くなりました。この時期の南極は白夜に近く暗くなるのは夜中の1時過ぎだそうです。それでも、船の中では食事が唯一の楽しみ。料理人には日本橋の料理店の板前さんもおり毎食豪華で一品以上日本食が出ます。

21日、暴風圏を抜け静かな南極海を航行中です。南極法で講義を受け最低限の知識を得なければ南極には上陸できないそうです。講義の後には環境保護のため上陸用のリュック・ズボン・上着等の微生物除去処理を行います。更に異種生物を持ち込まないと誓約書に署名が必要で、環境保護に対する厳しい対応が感じられました。

22日から23日、更に南極海の奥に入ると年代の古い冰山や、ひっくり返った冰山が見えるようになります。そしてアデリーペンギンの営巣地、南極半島のピーターマン島にいよいよ上陸です。氷と雪の世界では可愛らしいゼンツーペンギンなども観察することができました。一日の終わりには「オセアナス・ラウンジ」という自由談話エリアでその日に見ることができた海鳥や生物の情報交換を行います。島への上陸には「ソディアックボート」というゴムボートを使用します。救難用の耐久性に優れた乗り物ですが、乗り降りが非常に難しく苦労したことも今では懐かしく思い出されます。

明日からは待望の「ポート・ロックロイ」に向かいます。イギリスの基地で古い観測小屋と博物館もあるそうです。

『トトと一緒にお昼寝ポーズ』



相模川清流の里ウォーク

一遍の踵念仏春深し

北里の永代供養一輪草

風光る住居の跡や二万年

蒲公英たんぽぽや川の恵みの自然村

一列に長々渡る春の風

六段の梯子を登る春の山

北条の栄枯盛衰城の春

下り来て春爛漫の湖畔かな

俳人 佐野 和彦



5月の事務所休業日 1日(水) 8日(水) 15日(水) 19日(水) 22日(水) 25日(土) 26日(日)